

新潟県民文化祭2001
《オーケストラ・アンサンブル演奏会》

ベートーヴェン

第九

演奏会

12月23日(日)開演=14時
新井総合文化ホール

- 主催=新潟県民文化祭実行委員会・ベートーヴェン「第九」演奏会実行委員会・(財)新井文化振興事業団・新井音楽協会・久比岐野合唱連盟
- 後援=新潟日報社 朝日新聞新潟支局 毎日新聞新潟支局 読売新聞新潟支局 日本経済新聞社 産経新聞社新潟支局
NHK新潟放送局 BSN新潟放送 NST新潟総合テレビ TeNYテレビ新潟 NT21新潟テレビ21 エフエムラジオ新潟
新井市音楽文化推進協議会
- 協賛=JR東日本新潟支社


Niigata Prefecture Cultural Festival
新潟県民文化祭



プログラム

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーベン
Ludwig Van Beethoven (1770-1827)

「エグモント」序曲 作品84

"Egmont" overture op.84



交響曲第九番ニ短調 作品125「合唱」

Symphony No.9 d-minor op.125 "Choral"

第一楽章: Allegro ma non troppo, un poco maestoso
(速く、ただし控えめに、そうしてやや威厳を持って)
ニ短調4分の4拍子・ソナタ形式

第二楽章: Molto vivace
(きわめて速く活発に)
ニ短調4分の3拍子・スケルツォ

第三楽章: Adagio molt e cantabile
(はなはだ遅く、かつ歌うように)
変ロ長調4分の4拍子・変奏曲

第四楽章: Presto-Allegro assai
(急速に—はなはだ速く)
4分の3拍子

プロフィール(指揮者・オーケストラ)

指揮/山口哲人(やまぐち あきひと)



上越市生まれ

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。同大学大学院修了。

音楽理論、作曲、指揮等を服部隆司、野田暉行、川井学、島岡謙、尾高惇忠、永富正之、広瀬量平の各氏に師事。作曲集団「New Sound Scape96」同人。「21世紀音楽の会」会員。

作曲の傍ら、上越交響楽団、三和銀行管弦楽団、フィルモア合奏団、国立音楽院管弦楽団の常任指揮者等数多くのオーケストラ、合唱団の指揮にあっている。近年は「カルメン」「フィガロの結婚」「セヴィリアの理髪師」等オペラ分野での指揮活動、池の平音楽祭等地元のアマチュア音楽家との交流育成、チャリティーコンサート等による広範囲にわたる音楽の普及にも力を注いでいる。

第14回神奈川県芸術祭創作コンクールに第一位入賞。1993年度全日本合唱コンクール公募入選「朝日作曲賞」受賞。上野の森プラス20周年「銀の森賞」受賞。稲門グリークラブ40周年記念作曲コンクール最優秀賞受賞。1996年度全日本吹奏楽連盟主催コンクール選択曲公募佳作。平成8年度文化庁舞台芸術創作奨励特別賞受賞。くまもと未来国民体育大会(第54回国体)ファンファーレ入選。ほか

1995年3月にはこれらの作品の集大成として『混声合唱、バリトン、語り、オーケストラのためのカンタータ「やつかはぎ」』を作曲、上越市にて地元音楽家数百人を率い初演指揮。好評を博す。

〈主要作品〉

チェロとオーケストラのための「わたしはシリウスにのって空を渡ろう」(1992年)

バリトン、混声合唱とオーケストラのための「やつかはぎ」(1995年)

箏とオーケストラのための「片葉の葦」(1995年)

弦楽のためのパッサカーリア「この無限の空間の永遠の沈黙は私を恐怖させる」(1996年)

金管十重奏のための5つの前奏曲「そのひかりはすべてほし」(1997年)

パーカッションアンサンブルのための「蒼ざめた震える若者」(1998年)

「エタクーみえない鳥ー」ベース独唱、複数のヴァイオリンによる(1998年)

オーケストラのための「フィオーレ・ムジカーリ(音楽の花束)」(2001年)

オーケストラ/上越交響楽団

上越交響楽団は1972年に発足して以来、年2回の演奏会や、県民コンサート等で各地の皆様にご覧いただき、親しまれてまいりました。フル編成のオーケストラとして活動することはそれなりに苦労もありますが、反面、どんな編成にも対応できるということで、パッサカリアからマーラー、バーンスタインまで、色々と取り組んでまいりました。

2000年には上越市の国際交流事業の一環として、韓国浦項

(ポハン)市の浦項市立交響楽団との合同演奏会「日韓フレンド

シップコンサート」を開催し、音楽を通じた日韓友好の素晴らしい1ページを飾ることができま

した。本年は浦項市において2回目の同コンサートが開催される予定でしたが、教科書問題等の影

響で延期となってしまいました。浦項、上越両オーケストラは1日も早い再会の日を今も待ち望ん

でいます。

2001年3月には第50回の記念すべき定期演奏会を開催し、常任指揮者の山口哲人氏の作曲による、

オーケストラのための「フィオーレ・ムジカーリ」を初演、続く8月の51回定期演奏会では、バレ

エ音楽「白鳥の湖」をナレーション入りで演奏したりと、意欲的な活動を展開しています。



プロフィール(ソリスト)

ソプラノ／山本由佳子（やまもと ゆかこ）



新井市出身。
国立音楽大学声楽科卒業。同大学卒業演奏会出演。
二期会オペラスタジオマスタークラス終了。
第34回新潟県音楽コンクール県知事賞受賞。
現在、各種演奏会出演。

アルト／荻野美智恵（おぎのみちえ）



新井市生まれ。
16歳から声楽を学び、箕輪久夫氏、池田操氏に師事。
昭和57年、新潟大学教育学部特設音楽科声楽専攻卒業。
新潟県中学校教諭として、十日町市、上越市、柏崎市に勤務。
平成13年3月、上越教育大学大学院修了、現在柏崎市立東中学校に勤務。
第10回、第35回新潟県音楽コンクール優秀賞受賞、柏崎市音楽教師の会によるコンサートに10回出演、柏崎市ヴォーカルジョイントコンサートに9回出演、上越市立城西中学校「第九」アルトソロ出演。
現在柏崎フィルハーモニー管弦楽団のチェロ奏者。

テノール／宮下 登（みやした のぼる）



新潟大学特設音楽科卒業。箕輪久夫、山形忠顕の各氏に師事し声楽を学ぶ。
昭和63年から平成元年にかけて上越教育大学大学院で児童生徒への有効な発声指導についての研究を行う。同大学院では山形忠顕、工藤智昭の各氏より発声指導のみならず、歌劇の演出、舞台技術等のご指導をいただいた。
高田少年少女合唱団の指導を約10年続け、その間、新井市民合唱団、男声四重唱などの活動も行った。
現在、西蒲原郡中之口村立中之口中学校教頭、見附市少年少女合唱団指揮者。

バス／石塚 勇（いしづかいさむ）



糸魚川市生まれ。
高田高校卒業。
東京芸術大学卒業。
声楽を箕輪久夫、渡辺高之助、ピアノとソルフェージュを三垣亮子、服部隆司の各氏に師事。
横浜高校講師、玉川大学演奏指導員を経て平成9年より「ザ・キングトーンズ」のメンバーとして活動中。
芸大在学中よりポピュラー音楽の世界で活動し、現在も多くのCMソングやディズニー映画等の吹き替え、音楽雑誌等への執筆を手掛けている。
クラシックの分野ではドイツ歌曲、オラトリオに多くのレパートリーを持ち、オペラでは「魔笛」のザラストロとドンジョバンニの騎士長を得意としている。